(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **熊本県** (都道府県: **熊本県**)
 本事業の担当部局名 **健康福祉部子ども・障がい福祉局子ども未来課**

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業					
区分	重点メニュー					
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する機運の醸成					
個別事業名	「聞きなっせAIくまもと」の情報発信等による「こどもまんなか」機運醸成事業		新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~ 令和7年3月31日		事業開始年度	令和元年度		
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け (注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) <u>全事業共通</u> 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子どもを安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行い、「よかボス」の企業・団体の数は1,030社(R5.12月時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和4年の県内婚姻数は6,349件、出生数は11,875人と、経年的に低下傾向にある。同傾向については、若い世代が結婚に対する経済的不安を抱えていること、理想的な結婚相手との出会いの場が少ないこと、将来のライフプラン等について考える情報が不足していること、子育てに対する負担感などが主な原因であると分析している。					
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) < 当年度の少子化対策の全体像 > <u>全事業共通</u> 過年度に引き続き、行政・企業等の連携した取組みによって、若い世代が結婚・子育てをしながら安心して仕事を続けられるくまもとのすがたを「くまもとスタイル」と称し、「よかボス」の取組みを軸として、結婚や子育てを社会全体で応援するくまもとを目指す。 < 本個別事業の位置付け > 結婚や子育てを社会全体で応援するものとして、子育てに対する負担感の軽減などを目的に、主に妊娠期～子育て期における支援として、AIチャットボットを活用した情報配信・相談対応を実施するもの。					
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) AIチャットボットを活用するもので質問内容に応じてAIが回答内容を選択して表示する仕組みではあるが、新規の質問に対する回答内容は職員が作成しており、多大な労力と時間を要している。そのため、AIを用いた学習データ自動回答作成機能を追加することで業務の効率化を図り、よりタイムリーな子育て支援を行う。 また、情報配信回数が月2回の現状では、限定的な情報発信しかできない状況である。そのため、月の配信回数を3回に増やすことで、より細やかな子育て支援の情報を発信する。					
番号	項目	内容			ステップアップ	KPI設定
1	「聞きなっせAIくまもと」による情報発信・相談対応	「聞きなっせAIくまもと」によるAIチャットボットを活用した子育て支援についての情報配信・相談対応以下のとおり実施するもの。 ・子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の配信機能を用い、 <u>市町村の子育てイベント情報や感染症・予防接種情報などの子育て支援情報を随時発信する。(配信に当たっては、「聞きなっせAIくまもと」の定期的なFAQや公共施設の情報更新を行う。)</u> ・就学未満の子育てに関する相談について、24時間365日AIが回答する。 ・スマートフォンの位置情報から、近くの子育てを応援する店(子育て応援団)の情報を取得できる機能を運用する。 ・令和5年度に、子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」に多言語対応機能(英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、フランス語の5か国語)を追加したものについて、継続運用を行う。 なお以上の取組みに加え、令和6年度においては下記の改修を実施する。 ・子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」に、新規質問に対する回答作成のための、AIを用いた学習データ自動生成機能を追加し、よりタイムリーな回答を行う。 通常のシステム運用経費については、一般財源対応とし、上記改修に係る費用のみ申請。(3年ルール適用)				

個別事業の内容 (注)3	2	<p>子どもまんなか月間(5月・11月)と連携し、5月又は11月に、結婚・子育てを応援する機運醸成を図る情報発信・啓発活動</p> <p>5月及び11月に、子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の配信機能や、「よかボス企業」向けのFacebook及びInstagram等のSNS、並びに熊本県結婚・子育て応援サイトhapiモンに加え、広報部門が実施する全県的なSNS広告などを用い、子どもまんなか月間(5月・11月)について周知し、子育てを応援する機運醸成を図る情報発信を行う。</p> <p>また、子育て世帯向け地元民間情報誌(フリーペーパー)11月発行号に、子どもまんなか月間及び「聞きなっせAIくまもと」の記事を掲載するとともに、「結婚応援の店」及び「子育て応援の店」に「聞きなっせAIくまもと」のポスターチラシを送付し周知を依頼することで、子育てを応援する機運醸成を図る。</p>			
	<p>[次年度以降に向けた事業の方向性]</p> <p>SNS広告などを用いて子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の認知度を上げることで、登録者数を増やすとともに、利用者アンケート結果に基づいた満足度向上のための必要なメンテナンスを実施する。</p> <p>[事業内容を検討する上で参考とした既存事業]</p> <p>特になし。</p>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4 全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	結婚支援に取り組む市町村数		市町村	45(令和6年度)	35(令和5年度)
	「よかボス企業」登録数		団体	1080(令和6年度)	1030(R6.1.1時点)
	市町村長の「よかボス宣言」者数		人	34(令和6年度)	22(R6.1.1時点)
	「聞きなっせAIくまもと」友達登録者数		人	16000(令和6年度)	13794(R6.1.1時点)
結婚応援の店」登録数		店舗	400(令和6年度)	312(R6.1.1時点)	
参考指標 (注)5 全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.52(令和4年)	
	婚姻件数		件	6349(令和4年)	
	婚姻率			3.7(令和4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	「聞きなっせAIくまもと」友達登録者数	人	16000	13794(R6.1.1時点)
	2	「聞きなっせAIくまもと」情報発信数	件	36	24(令和5年度中)
	3				
	(アウトカム)				
	1	「聞きなっせAIくまもと」を友人等に勧めたい者の割合(満足度)	%	80	57.1(R4年度末)
2					
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	<p>・市町村は、子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の定期的なFAQや公共施設の情報更新について、県に情報を提供する。</p> <p>・市町村は、市町村内の子育てイベント情報や感染症・予防接種情報などの子育て支援情報を随時県に提供し、県は子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の配信機能を用いて、県民に向けて情報発信を行う。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	<p>「よかボス企業」に情報提供を行うことで、「よかボス企業」の子育て世代の従業員に向けて、子育て支援LINEアカウント「聞きなっせAIくまもと」の利用を呼びかける。</p>				